

# 一・ネクスト・ステージ Smart Home

前回、ホームシアターショップNEXTの加藤洋一氏が提案した「スマートホーム」。AV機器、照明、情報家電、空調など、さまざまなエレクトロニクスがつながり、オートメーションシステムによって制御統合されることによって生み出される新しいライフスタイルが「スマートホーム」です。今回は「スマートホーム」で手に入れたソリューションを用いた新たな展望を語ります。



加藤洋一氏  
philenumber:081

談話／加藤洋一 構成／編集部



普段は鏡、スイッチをオンすると映像が流れ出すモニターGLAS LUCE(ガラスルーチェ)。オフのときは鏡なので、生活空間にインパクトを与えない。このGLAS LUCEをさまざまなサイズで組み合わせたものがマルチモニターである。コンテンツや用途によって複数のモニターを使い分けられている、現代の生活に最適なスタイルだ。写真は三菱地所ホームのモデルハウス

## 「スマートホーム」 上質な生活を実現する

たとえばあなたがテレビを観たいと思います。iPod touchの画面をスッとなでるだけで、テレビに映像が映り、照明はテレビ視聴に最適な明るさとなり、最適な温度と湿度が保たれる…。そんな快適な暮らしが「スマートホーム」です。ワンタッチでさまざまなライフラインにチェンジする、新たなライフスタイルです。

「スマートホーム」は、テクノロジーとしては既に実現可能となっております。家庭内のエレクトロニクス製品をつなぎ、オートメーションシステムで制御統合することによって、ワンタッチでさまざまなシーンを呼び出すことができます。ただし、ひとつ誤解していただきたいのは、「スマートホーム」では複雑なテクノロジーを使っているわけではありませんが、それを感じさせないことが重要です。あくまでも快適な環境の実現が第一にあります。

「スマートホーム」の重要な構成要素は3つ。iPod touchなどをインターフェースに使いワンタッチでシーンを切り替える「簡単操作」、どこでも映像や音楽にアクセスできる「マルチゾーン」、そして最も重要な要素が「コンフォート／快適性」。最後の「コンフォート／快適性」を実現することが最大の目的です。

## 快適さの追求の結果 ブラックルームも進化

ここ数年、NEXTは「スマートホーム」を実現するためのソリューションを手に入れました。

本誌で度々紹介されている、GLAS LUCEを大小の

### ピーエス ふく射式冷暖房機

エアコンとは異なり、ふく射式なので、ノイズや風がなく、温度と湿度を一定に保つ。そのため、映像に没入できる。NEXTのブラックルームで体感できる



### マルチモニター (GLAS LUCE)

スマートホーム化によって、セキュリティ映像やサーバーに蓄積された映像などを含めて、これまで以上に各種の映像が飛び込んでくることになるが、マルチモニター化によってデザイン的にも使用感もすっきりとするだろう



### シヴォイアQS

ルートロンのグラフィックアイQSを使って、照明と自然光を連動させて、光全体をコントロールする。このシステムを発展させてピクチャーウィンドーのさらなる展開が予定されている



### インターフェース

マランツのカスタマイズリモコンRC9001をはじめ、最近ではiPod touchやiPadなどもクレストロンにつなげば、マクノを組み込むことができるようになっている



### ホームオートメーションシステム

スマートホームの司令塔がホームオートメーションシステムである。エレクトロニクス製品がオートメーションシステムと双方向でつながり、出された指示にしたがって動作し、現在の状態を伝送する

コンフォート／快適性

どこでもアクセス

簡単操作



### NAS

スマートホーム時代のキーとなるプロダクトはNASである。NASに蓄積された映像や音楽などのコンテンツを離れた場所から引き出す。

# ホームシアター *Black Room*



光を徹底的に制御することによって、人工的に漆黒の間をつくり出すブラックルーム。映像と音響に浸りきる空間である。既に名古屋のショールームにはルームクリエイターを導入。スピーカーシステムもMkSoundの150THXを設置して稼働している。近いうちに六本木のショールームにも導入する予定だ

サイズに組み合わせさせて、ひとつの壁面にまとめるマルチモニターはその代表的な存在です。また、名古屋のブラックルームで使っているピーエスのふく射式冷暖房機、HRCもそのひとつです。

最近おもしろいと思っっているのが、外光も含めてコントロールを行う、ルートロンとSHYのシヴォイアQS。自然光を制御するロールスクリーンやカーテンと、照明の調光を連動させたシステムですが、これをさらに発展させることによって、窓まわりをうまく使えるのではないかと、ピクチャーウィンドウをより充実させることができるのではないかと思います。

また、最近、音に関する快適さを実現するソリューション

を手に入れました。「ルームクリエイター」という調音パネルです。吸音効果が驚くほど高いのですが、一般的な吸音材とは異なり、ある特定の帯域を吸音するのではなく、フラットに効果を発揮します。また、遮音性能も高く、低域も遮音します。既にNEXTのブラックルームに導入しています。

以前からわたしはブラックルームならば、スケールの感覚がわからなくなるので、狭小空間でもホームシアターが可能だと言っていました。一方で狭小空間での音の処理は気にしていました。しかし、ルームクリエイターを使うことによって、狭小空間でも音の広がりが出てきます。

折しも、2010年は3D

プロジェクターが登場してきました。3D時代は映像の臨場感が重視されます。そこで、映像のみが浮かび上がる仕組みのブラックルームが脚光を集めるだろうと思っっていました。が、ルームクリエイターを手に入れたことで、音の問題もクリアできました。いまこそブラックルームの時代が到来したと言えます。

住まい全体はスマートホーム化し、リビングにはマルチモニターが置かれ、住まいの一角には狭くてもかわらないので、ブラックルームを設けて、映像と音響に浸る。これこそまさにホームシアター・ネットワーク・ステージであり、新たなライフスタイルです。3D元年を迎えたいま、こんな暮らしをはじめてみませんか？

## スマートホーム化を担う

スマートホームを推進するために、大型の新人がNEXT SCENEの戦列に加わった。大和田伊作氏はインストーラー出身。ホームシアター構築を中心にお仕事をされていたが、NEXT SCENEではスマートホームを中心に各種プロジェクトに携わる予定だ。建築やデザインに造詣の深い氏の、今後の活躍から目が離せない。



大和田伊作氏  
phonenumber: 603

## NEXT

愛知県名古屋市昭和区山手通2-13  
☎052-861-6655

## NEXT SCENE

東京都港区六本木5-17-1  
AXISビル4F  
☎03-3586-6441